

## COLUMN

### 古代マヤ暦の驚愕する予言



メキシコ・ユカタン半島のマヤ文明遺跡にチチエン・イツツアと呼ばれ、マヤ天文学の聖地とも考えられている「世界遺産」がある。その中心、「クルカルカンの神殿」には、古代マヤ人の天文学の智恵が凝縮され、計算し尽されて精巧に設計された驚くべきカラクリが隠されている。ピラミッドの四面それぞれに 91 段の階段があり、最上段には四角い神殿が鎮座して、その内部にはもう 1 段積まれて階段はすべて合せて 365 段となり、それは奇しくも 1 年の時を表している。正面の階段の両脇にはそれぞれ 9 段から成る階層があり、これらが合わせてマヤ暦の 1 年 18 カ月を表している。その最大の見せ場は、春分と秋分の日没時に正面の手すりを伝わって、蛇のシルエットが下りてくる幻想的な現象である。1 年に 2 度もマヤ暦に従いマヤの最高神クルカルカン様が降臨なされるのである。マヤ暦の極致は、天文学を駆使した精緻な現象に見られる。その寸分も違わない正確さは、1 年 18 カ月・365.2420 日のマヤ暦に比べ、現代暦は 1 年 12 カ月・365.2422 日であり、その誤

差は僅か  $2/10,000$ 。暦がいかに正確であるかが想像できよう。

マヤ暦によると現代は第 5 太陽期にあり、それは紀元前 3113 年に始り、終末はその 5125 年後とされている。つまりわれわれが生きている現代は、 $5125 - 3113 = 2015$  の計算式により、西暦 2012 年に終末期を迎えると予言された。科学誌などでも、2012 年 12 月 21 日が地球滅亡の日と伝えられ、話が拡散され、その直前には一部で恐怖と絶望感を生んだ。固唾を呑んだその日、地球は滅びず、大きな混乱もなかった。あれほど正確と伝えられたマヤ暦でさえ神通力を失ったとマヤ不信説も流れた。だが、マヤ暦が間違う筈はない信じるマヤ暦研究家が精査し上手の手から水が漏れていますに気づいた。何と 5 千年分の閏年を見逃した単純なミスだったと発表したのだ。計算し直した末に、彼らが改めて「地球破滅・人類滅亡の日」として発表したのは、今から僅か 3 カ月先の「2015 年 9 月 3 日」である。来る 9 月 3 日に地球は滅びる。さあ、あなたならどうする? 死出の旅路への覚悟はできているか? 身辺整理は間に合うか? あなたもマヤ最高神が予言する運命の岐路に立たされているのです。

(エッセイスト 近藤 節夫)